

財團 協調會福岡出張所

- 石油労働西戸崎支部 三名
 - 門司印刷工組合 二名
 - 小倉仲仕労働組合 二名
 - 下関運輪労働組合 二名
 - 長崎印刷技工組合 一名
 - 九柳直屬 八名
 - 合計 九八名
- 10、代議員歓迎の辭 瀬戸崎清
- 内外非常時に直面するにも不拘岡田内閣に何等の政策なし頼むは只總同盟あるのみ、本日の大會スローガンに邁進せよ。
- 11、答 辭 日本石炭坑大組合 宮崎太郎
- 従來の大會は轉々と具の會場を變へたか、今回より所屬

財團 協調會福岡出張所

- の製綱の會館で開催されるを喜ぶ、吾々は匪徒協力の實を擧げ將來九柳を關東、關西に劣らざる偉力あるものとせよ。それには第一に組織労働者を一層確實に導き一方未組織大衆の獲得に邁進せねばならぬ
- 12、一般情勢並各種報告 久保時造
- 別冊大會報告書參照
- 13、各組合情勢報告
- 日本石炭坑天組合 宮崎太郎
- 吾々の取扱つた爭議の半数は炭坑勞務係の暴力行爲に因るものである。川筋イデオロギーの一例として相田炭坑に於て七名やられた。酷いのは一人を事務所にて縛り上げ、焼火箸や煙草の火で突いて苦しめた事實もある。勞務係は棍棒で殴ぐるのか勞務係行政なりと言つて居る。